

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	グループホーム サンバード茶屋町
日付	平成16年9月30日
	特定非営利活動法人
<b>評価機関名</b>	高齢者と痴呆の人のケアを大切にす会 LIFE SUPPORT推進グループ
評価調査員	老人保健施設介護実務経験 及び介護支援専門員8年
評価調査員	在宅介護経験16年
<b>自主評価結果を見る</b>	(まだリンク先はありません)
<b>評価項目の内容を見る</b>	
<b>事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)</b>	

## 外部評価の結果

<b>講評</b>	<p>全体を通して(特に良いと思われる点など)</p> <p>「昼食の調理」「友達と歌う」「お絵描き」「新聞を読む」「テラスで一服」「部屋の片付け」「テレビを見る」「無私の境地に没る。等、人それぞれに自分の能力を發揮したり、自由な時間を過ごしている利用者の姿が見える。皆んな自分の生活をしているという情景である。そこには何気ない目配り、声かけ、誘導、準備など職員のサポートがある。3つのテーブルに別れて食事をするが、結構テーブル間でも話が飛んで賑やかな一時である。今日は利用者の漬けたキュウリ、ナスの粕漬けが出た。「おいしい」「いい味やなあ」「ナスは一寸塩っぱい!!」と声が通う。他の料理も利用者の味付けが多い。「私達も利用者さんによく教わっていますよ」と若い職員さんの声も。午後も「ふきんの刺繍」「毛糸でテーブルの足カバーづくり」等また女性達のがんばり。ここでも皆んな自分の出来ることをする。「いつまで、こんなことが出来るのかなあー」の一人言に一瞬戸惑う。利用者をよく外へ連れて行く。利用者が発案、職員が計画、そしてすぐ実行する。季節のお花見、買い物、図書館その他、市役所など職員の所用にも利用者が一緒に出かける。家族や地域の人々との交流も盛んである。</p> <p>「利用者一人ひとりの人格と能力を尊重し、ホーム生活の充実感の達成」に管理者・職員・家族そして利用者も各々の立場で精一杯努力していることを実感する。</p>
特に改善の余地があると思われる点	次のような提案をした
	人間が生きるための最低条件は「食べられること」「排泄できること」、そして幸せに生活する最大の目標も「自分で好きな物を食べられること」「自分だけで排泄できること」が充足されていることだろうと思う。
	現在は自分で食べられる人が殆んどであるが、嚥下能力がいつまでも維持できるよう、新しい口腔リハビリも取り入れて、利用者が健康な生活を続けていけることを願う。
	人格を尊重したケアは十分行はれているが、欲を言えば個室トイレがないのは残念に思う。
	次期の機会には是非考慮して欲しい。
	日常の運営の一助となるよう、具体的な作業を明確にしてボランティアを導入し、地域との交流を尚一層活発にして欲しい。

## I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	目標の一つに「あたりまえの生活」がある。利用者一人ひとりの個性、人格、能力を尊重して、家庭の延長につながる押し付けのない生活を、よく実践していると思う。特に利用者の新聞や広告を見て「今度はここに行きたい」と発案して、職員が具体的に計画して実行するというプロセスが、グループホームの生活全体に反映されていて、あたりまえの生活が着実に定着していていると考えられる。まだ設立して9ヶ月余りであるが、管理者・職員が一丸となって努力されているのを見ると一年後にどんなグループホームになっているか楽しみである。		

## 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	平面・立体の空間づくり、採光や換気機能、キッチンやリビングと浴室のスペースと個室のレイアウト等、健康的でゆとりある生活を利用者へ提供し、職員のケアがやり易くなっている申し分のない建物である。広い全天候型のウッドデッキは2ユニットのリビングをつなぎ、多目的使用が出来、両ユニットの利用者の交流にも役立っている。デッキから中庭が続き、マイ植木鉢で大輪菊を育てている人もいる。秋が楽しみ、職員手作りの歌集やアルバム、皆んなで作った貼り絵などはいつでも利用者の心を癒してくれる。		

## ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

## III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	一人ひとりのやりたいことを見つけ出し、生き生きと生活出来るよう支援することに力を入れている。時の話題、例えば今はオリンピックを象徴した飾りを皆んなで作ってリビングルームに貼ったり、色々な行事の写真を貼り出して、いつでもその時の楽しさを皆んなで話題に盛り上げられるようにしている。それぞれ取り組んだ成果を大切に、一人だけ片寄って何かをするということのないよう気をつけている。日常的なケアの計画、記録の他に、色々な場面で写真を個人別に収録して、家族にもいつでも見て貰えるようにしたり、すべてのレクリエーションの記録もファイルしてあり、次の計画にも役立てるようにしている。利用者全体で生活すること、一人ひとりの能力や欲求を満たしてあげることと区分して、ケアしていることも特徴である。プライバシーの保護もきちっと出来ている。常に利用者全員が能力を發揮できる場面を考え、充実感が持てるようにしている。		

## IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	新規の職員は、一週間程度のテスト勤務をして両者が納得した上で雇用されているので、管理者と職員のチームワークはずばらしい。法人の責任者、管理者と職員が一体となり良いグループホームを作り上げていこうとしている。家族とのつながりもグループ全体の「たより」"さんさん"で情報提供したり、多くの家庭も訪問してくれるので良い関係にある。広い自家菜園もあり、四季を通じて収穫を楽しんでいるが、近所の人も協力してくれたり、自分のところで採れた野菜など提供してくれたりする。色々なボランティアも訪問し利用者にも楽しみや癒しを提供してくれる。地域の小学生、中学生も訪問してくれたり除草してくれたりして、地域全体として良い関係をつくりつつある。		